

【実技事前講習受講要項】

技術・指導知識の深い理解と検定種目の技術向上を目的とし、学科検定合格者は規程により実技検定受験日まで「実技事前講習」を受講してください。本講習の 4 単位(8 時間)はごく基本となる講習にすぎませんので、検定種目の講習については担当講師とよく相談の上、積極的に追加講習を受けましょう。

- 1) 受講機関：JSBA 公認スノーボード学校(注意：認定校では受講できません)
- 2) 担当講師：A 級インストラクター
- 3) 受講単位：4 単位(8 時間)
- 4) 受講料金：20,900 円(税込)(全国统一料金)
- 5) 申し込み：各 JSBA 公認校(各校の申込要領に従って申し込む)
- 6) 講習内容：

【1】初心者指導に必要な「導入技術、基礎技術」の理解と指導方法

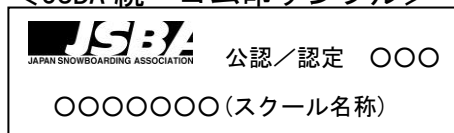
【2】下記 4 種目の理解と受講者個々に対する練習課題

- ① ベーシックカーブ ロング
- ② ベーシックカーブ ショート
- ③ ダイナミックカーブ ショート
- ④ スライド系ターンミドル フォールスライド

※エア、フリーライディングについては種目の概要説明および実施校における実技講習。(エアの実技講習については、各公認校に事前にご確認ください)

注意事項

- ① **事前講習修了証明書**は、学校名・公認番号の入った「JSBA の統一ゴム印」が押印されているか、必ずご確認ください。＜JSBA 統一ゴム印サンプル＞
(統一ゴム印の無い証明書は無効となります)



- ② 講習当日は、**学科合格証と受験票を学校に提示**してください。
(学科検定を公式サイトより申し込まれた方はマイページの合格番号を提示)
- ③ 指導法と検定種目の講習は、互いに関連性を持ちながら個々の受講者に合わせて行われます。時間配分や方法については、各講師が状況によって調整やアレンジをしながら進めます。
やむを得ず「4 単位 8 時間」の全てを同一校で受講できない場合は、2 単位ずつを異なる公認校で受講することができますが、必ずそれぞれの該当校に事前に相談をしてください。この場合の料金は、2 単位につき 10,450 円(税込)になります。

再受講する方へ

事前講習が複数回の受講になる方は、その旨を申込時に伝え、事前に該当校と講習内容のすり合わせを行ってください。

以上

《 B 級インストラクター「実技事前講習」開催要項 》

日頃より日本スノーボード協会教育本部の活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。
B 級インストラクター「実技事前講習」の実施要項について下記の通りご案内致します。また、受験者に対しては別紙【実技事前講習受講要項】を配付しているので、そちらの内容をご確認頂き、講習会を実施するようお願い致します。

- [1. 日程の設定] 各学校にて設定。(期日指定や随時可能など)
- [2. 担当講師] 実務経験が豊富で、技術的にも優秀な A 級インストラクターが指導すること。
(担当者は年次講習会を受講することが望ましい。)
- [3. 受付時の確認事項] 受験票・学科合格通知書の 2 点を必ず確認すること。
(学科検定を公式サイトより申し込まれた方はマイページの合格番号を確認すること。)
- [4. 受講修了証明書] (実技受験者は実技検定当日までに修了していなければならない)
JSBA 統一用紙 (IT-014) をプリントアウトして使用。

注意！！

統一スクールゴム印、校長印を必ず押印すること。押印のない証明書は無効になります。

※修了証明書は、発行元スクールの責任となります。発行管理は校長の責任において確実に行ってください。

[5. 実施要領]

基本時間	講習内容
4 単位 (8 時間)	【1】初心者指導に必要な「導入・基礎技術」 実際の初心者指導を想定し、レッスンの始まりから終了時まで技術説明や指導要領(安全管理等含む)を、流れに沿って進めてください。 ※「導入・基礎技術」を理解・指導することで「発展技術」の理解を深めることを受講生に伝える。 【2】検定種目の理解、受講者個々の練習課題 ① ベーシックカーブ ロング ② ベーシックカーブ ショート ③ ダイナミックカーブ ショート ④ スライド系ターンミドル フォールスライド 上記 4 種目を重点的に、理解度を深めさせ、的確なアドバイス。 ★種目要領に疑問を残したまま、終了することのないように努めてください。 ★エア、フリーライディングは種目要領説明と、可能な限り実技講習を行ってください。

時間配分

講習の時間配分や内容については、担当講師の判断で偏りのないよう調整すること。
ただし、受講者との間に誤解やトラブルがないよう、十分な説明をすること。

再受講者

実技不合格による再受講生については、本人の苦手種目などを確認した上で、画一的指導にならず、技術向上につながるように工夫した講習内容で行うよう、ご配慮をお願い致します。